

あすみが丘小学校・大椎小学校田んぼ 2012 田植え編

今年も大椎小学校、あすみが丘小学校の5年生が小山にある学校田んぼで米づくり体験をすることになり、まずはコシヒカリの田植えをしました（大椎小学校 5月30日、あすみが丘小学校 6月4日）。

子どもたちが田植えの様子を作文や絵にしましたので、ご紹介します。

■大椎小学校

☆はじめの田植えと自然にあふれた自然観察

5月30日、小山での田植えと自然観察に行きました。田植えをする前に、「人間が田に一步でも入ると小さな虫がおしつけられて死んでしまう」と聞いて、悲しくなりました。けれどもお米などを育てないと困るので、お米を育てるため、小さな虫の命をおとさないといけないんだと思いました。田に入る一步目、ぼくはそのしゅんかん、「ごめんなさい」という気持ちで入りました。田んぼは思ったより深くて、大きなクモやカエルなどが気持ちよさそうに泳いでいました。自然観察ではいろいろな生き物を見ることができました。すごく小さなてんとう虫やたまごをつけているクモ、カニの家族やドジョウなどがいました。初めて、田を泳ぐヘビを見ました。田植えと自然観察をして、自然のことを少しわかったかなと思いました。

☆田植えをして気づいたこと

私は行く前から田んぼに入るのがいやだなと思っていました。田んぼの中に虫がたくさんいることが特にいやでした。「田植えです」と言われても、私はなかなか田んぼに入れませんでした。他の人は次々と入っていたので、私も入ろうとかくごしてやっと入れました。でもカエルやオタマジャクシがいっぱいで大変でした。友達やボランティアのお母さんに手伝ってもらってやっと田植えをし、あることに気づきました。それは、大量のお米はとても苦労されて作られているということです。お米一つ一つには、作っている人の苦労や思いが詰まっているんだということがわかりました。このようなお米を、これからは残さず食べたいと思います。今日の作業で、お米作りが大変だと知り、私は、作っている人達に感謝の気持ちでいっぱいになりました。

☆命

田植えの説明の時の「農業は命を作りますが、それと同時にたくさんの命を殺してしまいます」という言葉が心に残っています。谷津田にはたくさんの命がありますが、その分、死んでしまう生き物もたくさんいます。田植えをしているときにも田んぼの中の小さな生き物を踏みつけてしまい、たくさん死んでしまうのです。しかし、死んでしまった命が土にかえることで、稲の生長がよくなり、よりおいしい米ができるのではないかと思います。つまり、農業とは生き物と協力し、おいしい食べ物をつくることだと思いました。

☆初めての田植え体験&自然観察

私は、今日、田植えを初めてやりました。田植えの仕方もわからなかったけれども、YPPの方やボランティアのお母さん方に教えてもらい、上手にできました。ただ、はだして田んぼに入るのにはビックリしましたが、入ってみたら、意外と気持ちよかったです。田んぼの中にはいろいろな生き物がいました。カエルやオタマジャクシ、アメンボ、それからおどろいたのがザリガニです。ザリガニは、川などにいるものだと思っていたので、田んぼにもいることがわかりました。自然観察も楽しかったです。「絶滅危惧種」のホトケドジョウがいるなんて、驚きました。絶滅危惧種の生き物がいるなんて思ってなかったからです。オタマジャクシをつかまえたり、草で笛をふいたり、いろいろなことを体験できました。

☆谷津田

谷津田に着くと苗を植えました。田んぼに足を入れると、土にはまったりして大変でしたが、とても小さなカエルやオタマジャクシなどがいて、楽しかったです。田んぼに一度、足を入れたらずっとそこにいたいほど、気持ちよかったです。田んぼから出て足をあらう終わった後、足がスッキリしました。そして自然観察をしに行きました。自然観察では絶滅危惧種のニホンアカガエルなどを見れてよかったです。サワガニも見ました。それにヘビもさわることができてうれしかったです。最後に草笛を作りましたが、なかなか上手いかず苦戦しました。とても楽しかったです。谷津田に行っているいろいろなことを学びましたが、一番楽しかったのは、友達とカエルをさがしたりする事でした。



田植え風景（撮影 大友 祥）

■あすみが丘小学校

☆いねを植えるの楽しかったー

田んぼに初めて行ったのでとても楽しかったです。はじめてオタマジャクシをさわられてうれしかったです。米をうえるのがとても楽しかったです。オタマジャクシのせなかがツルツルと初めてわかりました。いろいろな生き物がいっぱいいて、とても楽しかったです。虫をさがしているとき、ビーチサンダルがはまって少し歩きにくかったです。特にさわれた生き物は、オタマジャクシです。いろいろな形のオタマジャクシがいて、とてもおもしろかったです。一番よかったのがオタマジャクシからカエルになっているところが楽しかったです。また行きたいなと思いました。

☆田んぼ

田んぼ作りをするのに私は田んぼの中にはだして入りました。底なし沼のようにズブズブと足が入って行って前に進むのがやっとでした。位置につくと固まった苗が回されてきて苗が8本ぐらいありました。根っこがびっしりで2本ずつとって植えるのが大変でした。一列終わって、一步下がった時、足が太ももまで土が来てすごく深かったです。でも、やっているうちになれてきて田植えもスムーズに出来るようになりました。足を洗っている時、スタッフさんが来年の4月にどろ投げ（どろんこ遊び）があると言っていたのでやってみたいなと思いました。農家の仕事ができるとても楽しかったです。

☆自然観察をした

今日は学校から谷津田まで行き、田植えと自然観察をした。観察の時、たくさんの生き物を見つけた。ザリガニ、オタマジャクシ、カエル、ドジョウ、クモ、トンボ、チョウ、カゲロウの子どもまで見つけた。さいしょは空中の虫用のあみを使っていただけ、全然つかまえないので観察しづらかった。素手で挑戦したら、なんとサワガニがいた。かわいそうなことに足が一本とれて七本になっていたの、すぐに逃がしてやった。そのあとはカエルなどを見ていたら、ぼくのもっていたピンにでかいクモがいたのでとてもおどろいた。いつの間に入ったのか不思議だった。自然観察が終わるのがとても早かったのであまりよく観察できてないと思うけど楽しかった。

☆いろいろな生き物がいた谷津田

ぼくは、田植えをするのが初めてだったので、少し心配だったけれど、とっても楽しみでした。まず、はじめにびっくりしたのは、周りが森だらけだったことです。学校の方は家ばかりなのに、少し歩くとあんなに森がいっぱいあるなんて、考えてもいませんでした。田植えを始まり、田んぼの中に入るとすごくどろどろで気持ちが悪かったです。だけど、田んぼの中にはザリガニやカエル、オタマジャクシやメダカなどがすごくいっぱいいたのでびっくりしました。田植えが終わると、自然観察に急ぎました。生き物をさがすとドジョウを見せてもらいました。自分でもホトケドジョウをつかまえたのでうれしかったです。わき水の所には、サワガニがいました。しかし、最初に見つけたものは死んでいてかわいそうでした。だけど、そのあとに見つけた二匹は元気だったのでうれしかったです。先生の必殺アイテムを使って、そのあともヤゴやカエルなどをいっぱいつかまえました。谷津田には、いろいろな生き物がいて楽しかったです。また来るのが楽しみです。

☆楽しかった谷津田の体験

今日、私たちは谷津田に行きました。最初、谷津田はどういう所かわからなかったし、田植え作業もうまくできるか不安でした。でも、谷津田はとても自然が豊かで、美しい場所でした。最初の自然観察では、とてもたくさんの生き物がいました。オタマジャクシやホトケドジョウ、トンボ等の生き物たちが伸び伸びとくらしていました。そこでは、かえるを七匹ほどつかまえられたし、色々な生き物とふれあえてとても楽しかったです。次に田植えをしました。今までやったことがないので、少し不安だったけれど、とても楽しかったし、貴重な体験になったので、とても満足できました。また二十六日に行く日が、とても楽しみです。



あすみが丘小学校の皆さんの作品



里山たんけんレポート

第 149 回 下大和田谷津田の観察会とゴミ拾い

2012 年 6 月 3 日 (日) くもり

田んぼのオタマジャクシは二ホンアカガエルからシュレーゲルアオガエルにと季節が移って、畔には二ホンアカガエルの子ガエルがいっぱい跳ねていました。トンボはシオヤトンボがシオカラトンボにと移りつつあり、シオカラトンボの方が優勢になっていました。ヤマサナエ、二ホンカワトンボが何頭も見られました。女の子がホソミイトトンボを捕らえました。イトトンボの中でも名前の通り際立って細いイトトンボです。揺籃を作成中のゴマダラオトシブミやエゴノキでは首の長い特異な形のエゴツルクビオトシブミも見ることができました。カミキリムシも人気のある昆虫です。キマダラミヤマカミキリや小さい例え「ケシ」と言う名前が付けられている小さなキッコウモンケシカミキリなども見られました。チョウの仲間、甲虫の仲間、ハチの仲間、アブの仲間などいきものとの出会いがたくさんありました。植物はイネ科植物の盛期で開花植物の中では一番たくさん見られました。ウグイスの絶え間ない囀りと、時々聞こえるホトトギスの声を聞きながらの観察会でした。

(参加者 大人 8 名、大学生 1 名、高校生 5 名、こども 6 名； 報告：網代春男)

第 135 回 下大和田 YPP「田の草取り」

2012 年 6 月 16 日 (土) 雨

生憎の雨でしたが 11 名の皆さんが田の草取りに参加しました。こども達も田んぼに入り一生懸命に草を取ってくれました。谷津ではホトトギスが「テッペンカケタカ」とか「トウキョウトッキョキョカキョク」と昔から聞きなしされる大きな鳴き声を絶え間なく響かせていました。きっと「ここに卵を産むのに絶好なウグイスの巣があるからお嫁さん来てー！」と叫んでいたのでしょう。草取りに田んぼに入っていたお嬢ちゃんが可愛いこどものイシガメを捕まえました。最近ではクサガメよりイシガメが見つかることが多いように思えます。イシガメは千葉市、千葉県ともに最重要保護生物、クサガメは要保護生物です。大事に見守りましょう。雨は降り続きお弁当を広げるのもままならず、作業は午前中で終了しました。参加された皆さん雨の中お疲れ様でした。



カメを見つけたよ！

残った草取りは平日にスタッフの有志が作業を続けてくださいました。

(参加者 大人 7 名、こども 4 名；報告・写真 網代春男)

第 80 回・81 回 小山町 YPP「田植え～ぼーと2 & ぼーと3」

2012 年 6 月 2 日 (土)・10 日 (日) いずれもくもり

2 日は谷津田だよりを見て来てくれたご家族と学校田んぼのお手伝いをしているご夫婦がはじめて YPP の活動に参加して、少人数ながら楽しい田植えとなりました。草がかなり生えていたので、草取りと田植えを分担して行いました。植えたのは遅れているコシヒカリ。この日には終わりませんでした。残りは平日の 8 日にスタッフの有志が済ませてくれました。



10 日は少人数でしたが、YPP 田んぼの赤米の田植えと草取りをしました。今年はなぜか古代米の発芽が悪く、かろうじて育った赤米も予定した面積には足りませんでした。季節が進んでいるので植えていない場所はマコモなどの雑草がいっぱいで草取りがひと苦労でした。

その後、足りない苗は下大和田の余りを調達でき、スタッフが週末と平日に田植えを続け、6 月 20 日にようやくすべて植え終わりました。

田植えを済ませてホッとひと息ですが、田んぼを見ると最初に植えたところにはコナギがびっしりと生えていて、次は草取り作業です。

(参加者：ぼーと2 大人 7 名、小中学生 3 名、幼児 1 名；ぼーと3 大人 6 名；報告：高山邦明)

<谷津田・季節のたより>

小山町

- 6月10日 ツククサが咲き始める(高山)。
- 6月16日 カルガモのひなが暗渠に落ちていて、近づく親が偽傷(ぎしょう:ケガをしたふり)をして気をひきつけようとしていた(高山)
- 6月21日 田んぼでヘイケボタルが飛ぶ(齊藤)。
- 6月30日 夕方、ヒグラシが鳴く。とても早い出現にびっくり(高山)。

下大和田

- 6月1日 ガマズミ、卯の花が満開になりました。たくさんの虫が集まっていた。季節を間違えたか雌のカブトムシが一匹出現していました(網代)。
- 6月14日 栗の花が咲き始め、様々な昆虫が集まっていた。中にアカシジミが1頭いました。下大和田で初出現です(網代)。
- 6月17日 田んぼの草取りをしていたら稲の葉にヘイケボタルがとまっていた(網代)。

イベントのお知らせ

谷津田ってどんなところ? と興味をお持ちの方、お米づくりを経験してみたいなと思っている方、YPPのイベントには大人から子どもまで、はじめての方でも好きな時にご参加いただけます。家族で、お友達どうして、もちろん、お一人でも気軽にいらして下さい。

連絡先(いずれも): ちば環境情報センター (TEL&FAX: 043-223-7807 E-mail: hello@ceic.info/)

ご注意: ・車でこられる方は必ず指定の駐車場に止め、農道などにおかないください。

- ・近くにトイレがありませんので、集合前に一度済ませておくご協力をお願いします。
- ・小学生以下のおさんは保護者同伴で参加ください。
- ・けがや事故がないよう十分な注意は払いますが、基本的に自己責任でお願いします。

▼第136回 下大和田 YPP「畦の草取り」

コシヒカリの穂が出始める季節です。稲のため、生きものたちのために元気が良すぎる雑草を刈ります。夏本番を迎える谷津の自然を観察しながらひと汗流しましょう。

- 日時: 2012年7月21日(土) 10:00~14:00 小雨決行
- 場所: 千葉市緑区下大和田谷津田(ちば・谷津田フォーラムのホームページで地図をご覧ください。また、ご連絡いただければ地図をお送りします。)
- 集合: 中野操車場バス停向かいラーメンショップ脇に10:00(JR千葉駅10番成東あるいは中野操車場行きのちばフラワーバスで45分<千葉駅発8:53, 9:08, 9:23など> 料金は520円)
- 持ち物: 弁当、飲み物(暑い季節なのでたっぷり)、長靴、軍手、敷物など。
- 参加費(資料代等): ちば環境情報センター会員および家族100円、一般300円、小学生未満無料
- 主催: ちば環境情報センター 共催: ちば・谷津田フォーラム

▼第151回 下大和田 8月の谷津田観察会とごみ拾い

子供に人気のカブトムシやオニヤンマが元気な季節です。樹液の出ている木などを観察しながら谷津を巡ります。

- 日時: 2012年8月5日(日) 観察10~12時 午後は田んぼの作業など自由活動 *小雨決行
- 場所: 千葉市緑区下大和田谷津田(下大和田 YPP に同じ)
- 集合: 下大和田 YPP に同じ
- 持ち物: 筆記用具、飲み物(暑い季節なのでたっぷり)、長靴、帽子、敷物、ゴミ袋、午後まで活動する方は弁当など
- 参加費: 100円(小学生以上、資料代など)
- 主催: ちば・谷津田フォーラム 共催: ちば環境情報センター

▼第82回 小山町 YPP「田んぼの草取り」

梅雨の季節にぐんぐん伸びた田んぼの草取りをします。トンボやカエルなど夏を迎えます元気な生きものたちの様子を観察しながら作業をしましょう。

- 日時: 2012年7月14日(土) 10:00~12:30、小雨決行
- 場所: 千葉市緑区小山町 リンドウ広場(ご連絡いただければ地図をお送りします)
- 持ち物: 飲み物、長靴、帽子、軍手、敷物、
- 参加費: 100円(小学生以上、資料代など)
- 主催: ちば環境情報センター

編集後記 この季節、昔は一番草、二番草、三番草と3回の田んぼの草取りをしたと聞きます。梅雨の雨の中、晴れば蒸し暑さの中、腰をかかめでの作業は米づくりの中で一番の重労働でしたが、現在の農業は除草剤のおかげでその作業から解放されています。機械化が難しい谷津田での米づくりを支えているのは高齢の農家の方々に、もし除草剤がなければ耕作をとくに止めている方がきっとたくさんいるのではと想像します。農薬はとかく悪者扱いされがちですが、農薬のおかげで谷津田の環境が維持されているという面もあるのかなと感じています。除草剤を使っている田んぼでも毎年カエルやトンボが元気に育っています。(高山 邦明)